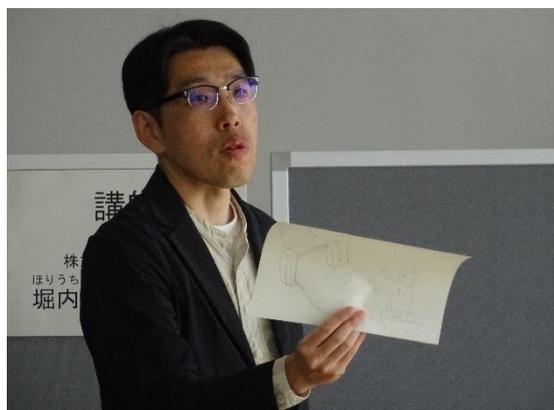


絵本編集者からのワンポイントアドバイス



「第3回さっぽろ絵本グランプリ」の募集に先立ち、えほん図書館では岩崎書店編集部
の堀内日出登巳さんをお招きして平成30年
5月20日に「絵本の描き方講座」を開催しま
した。堀内さんは前回グランプリの審査にも
関わっていただいています。

講座の中では、下記のような絵本の描き方
や描く際の心構えを教えていただきました。
「第3回さっぽろ絵本グランプリ」の絵本制
作のヒントになれば、幸いです。

- 絵本を描くときに大事なことはアイデアと構成である。特に構成をよく理解することは非常に重要である。
- 絵本は型のあるプロダクトである。構造を理解したうえで、1場面（1見開き）をどう使うのか、決められた型の中でストーリーを組み立てていくのか。
- アイデアには切り口やセンスが必要である。
- 絵本的な発想とは、なるべく遠いイメージで発想してみることに。
※講座では参加者全員で「のりもの」をキーワードに連想ゲームをしました。
「のりもの」から出たのは、ふうせん、冷凍ミカン、飲み物等…「のりもの」から世界が広がりました。
- 物語の舞台が異世界へ転移するときは、説明を長くしすぎないように注意する。